

糖尿病とは (2)

高血糖状態はきちんと医師の指導を受け、治療を守れば、確実によくすることができます。治療によって、一時的に血糖値が下がったとしても、治療を続けなければ血糖値はすぐまた高くなってしまいます。

高血糖が5年～10年以上長く続くと、眼や腎臓などに病気が出てくることがあります。これを糖尿病の合併症といいます。

糖尿病の治療の目標は、合併症を起こさない良い状態に保ち、健康な人とかわらない社会生活を遅れるようにすることにあります。

糖尿病の症状とは

糖尿病の症状は気づきにくく、多少血糖値が高くても、まったく症状のない人がほとんどです。「症状がないから大丈夫」なのではなく、症状があれば血糖値はかなり高くなっていて、合併症が進んでいるということです。

高血糖がひどくなると、のどが渇く、おしっこが多い、トイレが近くなる、体がかゆい、できものができやすい、傷が治りにくい、足がつる、だるい、疲れやすい、物覚えが悪い集中しない、眠い、お腹がすく、食べても痩せる、といった症状が現れてきます。さらに高血糖がきわめて高い状態では昏睡に陥ることがあります。

